

常 報 つるはし

發行兼編輯 兼印刷人 卷 常 六
 四島社 印刷所 株式 平 活 版 所
 發行所 常 報 つるはし 社
 每月三回、二十、三十發行
 代價 一部五錢 一ヶ月十五錢

動いて花が

咲きまじよか
 成功を望む人よ

浮き立つ心

一雨毎に暖かになつて、
 そろ／＼梅の花も綻び、
 な陽氣になり、何となく
 心も浮き立つて、一廻り
 やつて見様か、なごい
 考を起す人も、ホッ
 見受ける様であります。

思案のし所

殊に近頃本紙の各炭礦記
 事を讀んで、ごうもこ、よ
 りはよさそうだからなごい
 氣をもむ向も一二はある
 であります。然し、ごが諸
 君の大に研究しなければ
 らぬ事だと思はれます。

福は内にあり

兎角他人の妻君は親切で
 美人に見えるものだと申し
 ますが、實際はもと木にま
 さるうら木なし、何處も同
 じ春の野邊、心掛次第で、
 どんな美しい花でも摘取ら
 れ、その境遇に満足する事
 が出来るのであります。

境遇を美化せよ

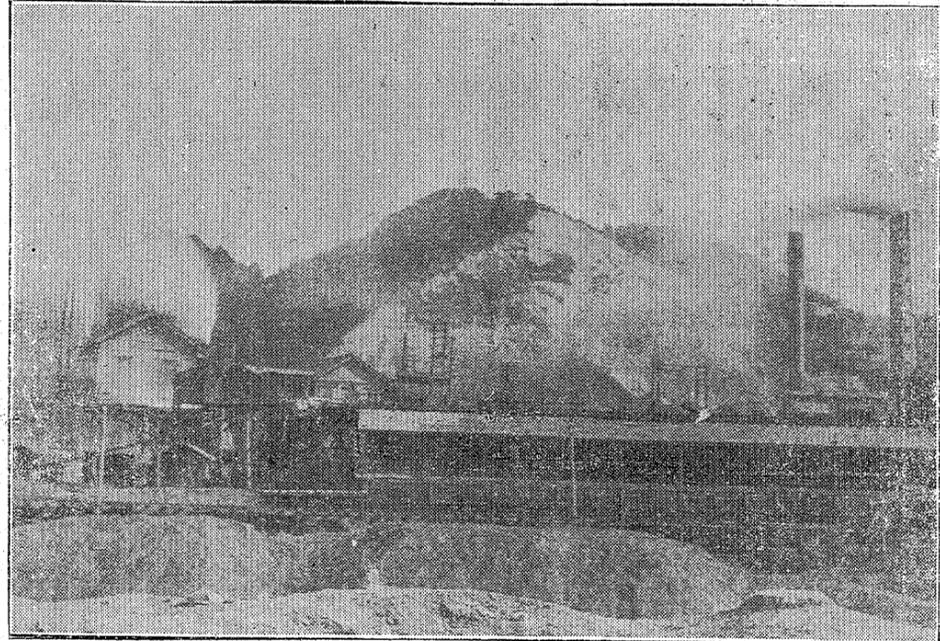
袖すり合ふも他生の縁、

住めば都

假に一日五圓とつても、
 六圓つかへば一圓の借金と
 なり、二圓とつても一圓五
 十錢で暮せば、五十錢の貯
 金が出来、勤定になるので
 あります。之は分りきつた
 事實であるのだから、賢明
 な諸君には、限つて輕學
 動する様な事なく、よく氣
 心の知合て居る同僚や役員
 の人々と、住み慣れた住宅
 で暮し、勝手の分つてゐる
 場所、仲よく眞面目に勤
 きさへすれば、何も問題は
 なからうと思ふのでありま
 す。其が一家の爲にもなり
 又會社の爲にもなるのであ
 ります。

樂しく花見

住めば都、轉がる石には
 若が生えぬともいひますか
 ら、アア、あれこれ心配
 せず、お花見の用意でも
 せらる、様、心からお勧め
 いたします。



【坑五第山入】

研究 炭礦の我僚友

極 光 生
 私、極めて乏しい材料
 で茲に英國の一炭礦々夫ウ
 イリアムハツチングスを紹介

介する。彼は無産階級教化
 のために献身的の努力をし
 た人類の恩人である。彼は
 炭坑の坑夫であつて、アバ
 ーチンリー無産者學校を經
 營して居つた。此の學校が
 出来てから、晝間は眞黒に
 なつて坑内で働き、夜は學
 校で他の教師と一緒に熱心
 になつて、生徒の教化に盡
 した。生徒の多くは八歳か
 ら十六七歳位までの少年青
 年の男女であつた。
 彼、ハツチングスは、一個
 の坑夫として非常に勤勉な
 男であると共に、校長とし
 ては小供のための無二の親
 友であつた。而も、家庭に
 あつては善良な夫であり、
 二人の子供のために慈愛
 の深い父親であつた。
 然るに不幸にも千九百二
 十一年(大正十年)十一月九
 日の夕方、彼は忽ち死ん
 て死んだ。私は彼の死に對
 して言ふべき言葉を知らな
 い。私は只、彼の一周年の
 記念日の當日彼に贈られた
 一篇の生々とした詩を誌して
 彼の大きな死に對する用意
 としやう。
 ウィリアム、ハツチング
 スのために僚友よ、
 儂ひなく雄々しかつた一個
 の生命よ!
 果てしなき闘争の世を逃れ
 て
 いぶせき墓場にお前は眠る
 いぶせき墓場にも春は來よ
 う
 草は緑に、花は紅に、
 お前の床を飾らんために、
 雛菊は優さしいかうべを擡
 げる。
 夫として父としてのお前の
 奉仕を、
 妻や子供は永久に忘れまい
 夜風がそよ／＼吹き初める
 頃に、
 子供は墓場へ静かにより添
 ん。

懸賞

後山を辛棒させるには
 如何したら可いでせう
 本日ノ切

發表 三月二十日

御應募の玉稿は直ちに審査員の諸氏許にお送りします

各交際所 幹部紹介

- 長倉交際所幹部
 元老 二澤 源次
 聯合員 田村 甚七
 大當番 白木 龜吉
 當番頭 林方 新治
 具方 土新助
 石井 德政
 渡邊 徳次郎
 佐川 喜市
 古川 喜久治
 丹野 榮藏
 交際所頭 丹野 榮藏

つるはし 文庫便り

- ◆新提供圖書 踊の夜
- ◆國民小訓
- ◆中央公論三月
- ◆現代三月
- ◆サンデー毎日
- ◆週間朝日
- ◆實業之日本
- ◆今回から一時に一冊だけ致しましたから御承知下さい
- ◆郵送は致しますが送料及び返送料は必ず御自辨に願ひます
- ◆つるはし文庫圖書目錄は其内に發表します